

2026年10月7日

ピンクリボンコンテナの運用開始について

この度、日本貨物鉄道株式会社（以下、JR貨物）は、12フィートコンテナにピンク色の塗装を施し、貨物鉄道輸送を通じて乳がんの早期発見・早期治療の大切さを広く社会に発信します。

当該コンテナは、主に倉賀野駅～広島貨物ターミナル駅間など、関東から関西までの地域間を中心に運用予定です。ピンクリボン運動への理解促進と、乳がんの早期発見・早期治療の重要性に対する社会全体の意識向上に貢献します。

今後も貨物鉄道輸送を通じて社会課題の解決や地域・社会への貢献に取り組んでまいります。

記

1. 概要

本企画は、JR貨物のC&C活動※において、「物流インフラである貨物鉄道を活用し、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えたい」という社員の提案をきっかけに実現した取り組みです。

物流という社会インフラを活用した「日常に溶け込む啓発」をコンセプトに、人々の暮らしや産業を支えるコンテナそのものを「走るメッセージ」として活用します。人々の健康を願う「やさしさ」と環境に優れた貨物鉄道が有する「信頼性」を掛け合わせ、沿線地域や貨物駅周辺などで啓発の機会を提供します。

※C&C活動：「Challenge & Change活動」。JR貨物グループにおいて、全社員が様々なアイデアを実現することに挑戦する活動。

- 2. 運転期間 2026年10月6日～当面の間（概ね2年程度）
- 3. 主な走行線区 東海道線、山陽線、武蔵野線、東北線、高崎線、など
- 4. コンテナ個数 JR貨物 12ft 有がいコンテナ 2個（19D-33170・19D-33520）
- 5. 塗装変更コンテナ



コンテナ正面の塗装変更デザイン



貨物列車に積載の様子